

## 木の匂いが香る 鹿野総合支所新庁舎、オープン!

**令** 和7年もーカ月が過ぎましたね。毎日、寒さの厳しい日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。今月号の「えーる!」は、12月23日に新庁舎で業務を開始した周南市役所鹿野総合支所についてご紹介します。

昭和46年に建設された旧庁舎は、長い年月を経て老朽化など多くの課題を抱えており、庁舎の建て替えが進められていましたが、ついに完成した新庁舎で業務が開始。

地下1階、地上3階建てという大きな庁舎から平屋建てとなった庁舎に入るとまだ新しい庁舎の中には木の香りが漂っていました。木の色もあってか、とても明るく感じられる庁舎内はコンパクトにまとまり、すっきりとした印象になっていましたよ。

また、庁舎内に使われている木材は、周南市産のスギやヒノキを使っているのだとか。

偶然ながら、旧鹿野町の

町木であるスギが使われていることに驚きました。鹿野の歴史を記した鹿野町誌によると、林業の町である鹿野にふさわしく、里山に広く分布し生活の中で身近に感じられる木であるスギは、すくすくと伸びる姿が「のびゆく鹿野町」のイメージにふさわしい、という理由で、町木として選ばれたそうです。鹿野の地域内にあるマンホールにも、スギがデザインされているんですよ。

また、ヒノキもスギと同じく町木の候補に挙がり、当時はスギ以上の造林面積を持つ木だったようです。どちらの木も、鹿野に縁の深い木ですね。前庭にタイムカプセルが埋められたり、天神祭で走る裸坊たちの控室になったりと、住民に開かれた場所だった旧庁舎。新庁舎も、鹿野が元気になるための拠点として活躍してくれるよう、エールを送りたいと思います!

●新庁舎外観







2月1日から開催！

## 鹿野高原豚×周南米フェア

**周**

南市の資源・特性を生かして「周南市ならではの」「周南市らしさ」「周南市の良さ」といった個性と魅力を持つ産品が認定される「しゅうなんブランド」。

この「しゅうなんブランド」からイチ推しの一品を決定する総選挙で、みごと一位に輝き「しゅうなんブランド『極』」に認定されたのが有限会社鹿野ファームが生産する鹿野高原豚です。

この鹿野高原豚と、周南産のお米のおいしさを知り、購入して、食べてほしい……そんな思いから、今年も鹿野高原豚×周南米フェアが開催されます。

フェアには「やまぐち食彩店」から2店舗、「周南市地産地消推進店」から7店舗が参加。「やまぐち食彩店」と「周南市地産地消推進店」の認知度向上と利用促進も、このフェアの目的なんです。

周南市地産地消推進店を担当する周南市農業振興課からは「このフェアのために各店舗が工夫を凝らして考案した、個性豊かなグルメをぜひ食べてほしいと思います。周南地域に地産地消に取り組む魅力的なお店がたくさんあることや、鹿野高原豚

と周南産のお米のおいしさを、ぜひこの機会に食べて実感してほしいです。あわせて、お肉やお米等、美味しい農林水産物を作ってくれる生産者がいることを知ってほしいと考えています」とメッセージをいただきました。

おいしい一皿ができるまでにはお店の工夫、食材を作る生産者の努力……さまざまなものがあり、その思いを伝えたい。そんな熱い思いを感じる事ができました。

本フェアの主役のひとつである鹿野高原豚は、赤身部分はジューシーで柔らかく、ほんのりと甘い脂身と合わせて、ただ焼いただけでもとてもおいしいお肉です！

参加店舗のうち、鹿野地域から参加される石船温泉は「ポークステーキセット」を提供されます。アツアツの鉄板で焼かれた豚肉に、タマネギを使ったソースをかけたメニューなんです。

温泉に入ってリフレッシュし、おいしく調理されたポークステーキを、周南地域で作られたお米と一緒に堪能する……とてもぜいたくな時間を過ごせそうで、今からワクワクしてきますね。

### 鹿野高原豚×周南米フェア

**期間** 2月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・14日(金)・15日(土)・21日(金)・22日(土)

参加店舗ごとにメニューを提供する日は異なります。詳しくは周南市ホームページをご覧ください。



石船温泉はフェアの全日程メニューを提供されます。

●問合せ

石船温泉 ☎ 0834-68-2542

